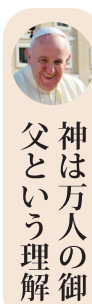


キーワードで読み解く
回勅 兄弟の皆さん
 連載第7回(全7回)
 酒井俊弘補佐司教

第8章「世界の兄弟愛のために働く宗教」の教皇フランシスコならではのキーワードをご紹介します。



神は万人の御父という理解

272 わたしたち信者は、神は万人の御父という理解がなければ、兄弟愛の呼びかけに盤石な根拠はないと考えます。「孤児ではない」という子としての意識があつてこそ、わたしたちは互いに平和に暮らすことができます」と確信しています。

271 父である神は、信者だけの父ではなくすべての人の父です。わたしたちは皆言わば血のつながった兄弟。その自意識が互いの理解と平和の基礎となります。

270 わたしたちは、仕える教会、家から出て行く、聖堂から出て行く、香部屋から出て行く教会になりたいのです。いのちに寄り添い、希望を支え、一致のしるしとなるために、……橋を架け、壁を壊し、和解の種を蒔くためです。

はどこに出かけて和解の種を蒔けるだろうか」と。

277 もし福音の調べが、家庭で、町中で、職場で、政治や経済の場で流れなくなってしまうば、あちこちの尊厳のために闘うようわたしたちに迫るメロディがやんでしまうでしょう。……わたしたちにとつては、人間の尊厳と兄弟愛のその源泉はイエス・キリストの福音にあります。

277 もし福音の調べが、家庭で、町中で、職場で、政治や経済の場で流れなくなってしまうば、あちこちの尊厳のために闘うようわたしたちに迫るメロディがやんでしまうでしょう。……わたしたちにとつては、人間の尊厳と兄弟愛のその源泉はイエス・キリストの福音にあります。

277 もし福音の調べが、家庭で、町中で、職場で、政治や経済の場で流れなくなってしまうば、あちこちの尊厳のために闘うようわたしたちに迫るメロディがやんでしまうでしょう。……わたしたちにとつては、人間の尊厳と兄弟愛のその源泉はイエス・キリストの福音にあります。

275 神が、一人を殺した者あり、一人のいのちを救う者は全人類のいのちを救ったと同じであると定めることで、そのいのちを奪うことを禁じた、人間の無垢の魂の名によって……歩む道としての対話の文化を、行動としては協働を、方法・基準としては相互認識を採

275 神が、一人を殺した者あり、一人のいのちを救う者は全人類のいのちを救ったと同じであると定めることで、そのいのちを奪うことを禁じた、人間の無垢の魂の名によって……歩む道としての対話の文化を、行動としては協働を、方法・基準としては相互認識を採

扱することを宣言します。

287 聖霊、来てください。地上のすべての人に映し出される、あなたの美しさを示してください。どの人も大切であり、どの人も欠けてはならないことに気づき、異なる顔をもつ一人ひとりが神に愛された同じ人間であることをわたしたちが悟ることができまうように。アーメン。

287 聖霊、来てください。地上のすべての人に映し出される、あなたの美しさを示してください。どの人も大切であり、どの人も欠けてはならないことに気づき、異なる顔をもつ一人ひとりが神に愛された同じ人間であることをわたしたちが悟ることができまうように。アーメン。

287 聖霊、来てください。地上のすべての人に映し出される、あなたの美しさを示してください。どの人も大切であり、どの人も欠けてはならないことに気づき、異なる顔をもつ一人ひとりが神に愛された同じ人間であることをわたしたちが悟ることができまうように。アーメン。

バチカンのサイトから『兄弟の皆さん』の日本語PDF版を閲覧・ダウンロードすることができ
 ます。



ラジオ
信仰の時間

河内キリシタン
 〈1月29日放送分〉

酒井 淳神父
 (大阪田辺・平野教会)



きょうは、一度は訪れてほしい、大阪のキリシタンの聖地をご紹介しますと思います。皆さんは「河内キリシタン」のことをご存じでしょうか。今から約460年前の戦国時代、畿内を支配し、天下人と呼ばれた三好長慶の居城が、河内平野の北東部、生駒山系の飯盛山・山頂にありました。標高314メートルの山上からは、今でも、北は京都、西は大阪平野を抜けて六甲山地や淡路島、南は和泉山脈までを見渡すことができます。

室町幕府の実権を握っていた三好長慶は、キリスト教の布教を許可し、キリシタンの保護を命じていました。そして、フランシスコ・ザビエルが来日して15年目となる1564年に、この飯盛城内において、長慶配下の家臣73名が、修道士ロレンソ了齋の話を聞き、宣教師ガスパル・ヴィレラから洗礼を受けてキリスト者となりました。

この出来事が発端となり、豊臣秀吉が伴天連追放令を出す1587年までの20数年間、河内一帯は畿内キリシタンの聖地として、急速に発展していくこととなります。飯盛城下の三箇を始めとして、主な町には教会が建てられ、宣教師ガスパル・コエリヨは、砂、岡山、八尾に6千人近くの信徒がいると1581年の年度報告に記しています。

現在の飯盛城跡地は、国の史跡に認定され、調査や整備も進み、身近なハイキングコース

として親しまれています。JR野崎駅や四條畷駅から登山ルートが複数ありますし、野崎観音の境内北側にも登り口があります。私は昨年2度、飯盛城跡に行きました。1度目は阪奈道から大東市立野外活動センター前の駐車場に車を停めて、尾根伝いに15分ほど歩くらくらくコースを。2度目は野崎観音から登り、城跡の南に出て、頂上、展望台を経て北條神社へと下る往復2時間のコースです。山城ですので、登り・下りは楽ではありませんが、かつて宣教師やキリシタンたちが辿ったであろう道を自分も歩き、見たであろう城跡からの眺望を自分もまた目にしているという感慨を味わうことができました。

今日のミサの福音は、イエスが山の上で人びとに語られた、八つの幸いの話が読まれます。イエスが弟子たちと登られた山を飯盛山と重ね、そこに集まって主の言葉を聞いた人びとの思いを、河内に栄えたキリシタンの人びとの信仰に重ねながら、今日の福音(マタイによる福音5章1～11節)に耳を傾けようと思います。

ネットを検索すれば「河内キリシタン」について、多くの情報に触れることができます。身近なところでは、飯盛山の麓に建つカトリック大東教会が属している「しろきたブロック」のウェブサイト、地元出身の竹延真治神父

による、面白くて分かりやすい「河内キリシタン」の記事が載せられています。

書籍では、昨年の『大阪カトリック時報』1月号の「司牧者から若者たちにこの一冊」のコーナーで、竹延神父が紹介文を寄せていた『野崎観音の謎(2008年)』という本があります。著者は河内キリシタンの研究で知られる野崎キリスト教会の神田宏大牧師。野崎観音は落語や歌で知られる「野崎まいり」の舞台となった禅宗のお寺ですが、迫害後の河内キリシタンとこのお寺の深いつながりを扱った興味深い内容で、河内キリシタンの入門書としてもお勧めです。現在、入手が難しくなっているようですが、カトリック大東教会にはまだストックがあるようです。

さて、カトリック大東教会では「河内キリシタン」の関連イベントが行われています。春には「三好長慶公・武者行列 in 大東」、秋は「河内キリシタン記念祭・野外ミサ」、12月は「飯盛山麓クリスマスフェスタ」が毎年行われます。興味のある方は、問い合わせしてみてくださいね。

毎週日曜日 5:50～6:00AM 放送
 3月担当: 松永 敦神父
 ABCラジオ(朝日放送) AM1008/FM93.3
 スマホアプリのradikoでも聴けます。

性虐待被害者のための祈りとつぐないの日

子どもと女性をとりまくさまざまな問題を通して「神からいただいたいのち」をもう一度深く味わうために。人を傷つけ、いのちの輝きを奪うことのないように――謙虚な気持ちで学び、傷つき苦しむ人のいのちが再び輝きを放つよう祈る時間を持ちたいと思います。どなたさまも自由にご参加ください。

主催 ハラスメント対応委員会(※名称変更)
 問合せ 教区本部事務局 ☎06-6941-9700

3/11 土・サクラファミリア 14時 テゼによる祈りの集い

